

## 会議結果報告書

令和7年1月24日

会議の名称	令和6年度第2回舞鶴市誘導施策に関する懇話会	
種別	<input type="checkbox"/> 附属機関 <input checked="" type="checkbox"/> 懇話会等	
開催日時	令和6年11月18日(月)15時00分～	
開催場所	舞鶴市役所別館6階 612会議室	
出席者	別紙のとおり	
議題	<ul style="list-style-type: none"><li>・補助制度について</li><li>・現状整理、課題認識</li><li>・長期スケジュールについて</li><li>・土地区画整理事業について</li></ul>	
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	
	<input type="checkbox"/> 部分公開	[理由]
傍聴者数	0名	
審議結果 及び 主な意見等	別紙のとおり	
会議録の作成様式	<input type="checkbox"/> 詳細 <input checked="" type="checkbox"/> 要約	
備考		
担当課	舞鶴市建設部都市計画課 TEL (0773)66-1048	

## 第2回舞鶴市誘導施策に関する懇話会

1. 日時：令和6年11月18日（月）15:00~17:00
2. 場所：舞鶴市役所 別館6階 612会議室
3. 出席者：（委員）阿部大輔、嶋田知子、川井啓、名取貴春、川畑淳、高山広治、渡邊崇彦  
（オブザーバー）岡井有佳、川村和則  
（事務局）渡瀬係長、佐藤、浪江

### 4. 内容

#### 【主な意見】

#### ○補助制度について

- ・そもそも予算100万円は少ない。
- ・住宅取得費用の補助で1件10~20万円では少なく、あまり喜ばれる金額だとは思わない。
- ・民間賃貸住宅の家賃補助であれば利用率は上がるが、これにより移住者が増えるとは思えない。
- ・水道料金や家賃の補助だと明確な成果が示しにくい。
- ・現行補助制度のままで、もっと利用率を上げるための工夫をする方が良いのではないか。
- ・変更するのであれば、誘導施策に繋がる内容でなければならない。
- ・宮崎県都城市では単身での移住で60万円、世帯での移住で100万円といった非常にインパクトのある移住施策により人口が増えている。

#### ○現状整理、課題認識

- ・東地区中心市街地複合施設（旧マイコム）に関する市民へのアンケート調査で、買い物ができる場所や遊ぶ場所がほしいという意見が出ていた。それを参考にすることも良いと思う。
- ・まちなかの空き店舗を活用しようとすると、解体費用、借入れ、従業員確保の問題があるため、ハードルが高い。

#### ○土地区画整理事業等の手法について

- ・東地区は既に綺麗に整備されているので新たな道路は要らない。西地区の方は、狭隘道路がちょっと残ったりしているので、同じ土地区画整理事業でもやり方が異なってくる。
- ・一つの街区の半分や3分の1で行うと、5~6年という短い期間でできる。
- ・近年関東の近隣都市でも再開発でうまくいっているケースは殆ど無い。テレビで出てくるような、デベロッパーがやったケースは、どちらかというとなら建て替え再開発に近い。
- ・区画整理事業で建物を動かしてくださいって言った瞬間に事業の中で公共補償しなければいけない。
- ・市施工ではなく移転費用を伴わない組合施工でないとなら事業が成立しないと思う。空き地であればそもそも移転補償費が発生しないため、そういった場所を探すのも手ではないか。
- ・ニーズと課題と将来像が固まっていなると事業は頓挫する。
- ・最近地方都市でも増えてきている不動産の暫定利用もありではないか。

#### ○今後の取組み、検討内容について

- ・まちづくりには、官民の連携が必要だと考える。東地区、西地区それぞれ魅力ある場所を作っていく、それを民間と行政が協力してやっていくことが大切である。そのためにも市民や民間との関係づくりが重要。

- ・ニーズと現状の整理が必要ではないか。
- ・空き地・空き家の所有者、特に市外に住んでいる所有者へアンケートをとり、意向調査を行うのが良いと思う。
- ・調査にかかる費用の予算要望をして財源確保すべき。国費で使える補助メニューがないか等の調査検討が必要。
- ・誘導施策を具体化していく。